



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.975 2015年4月20日

ARIBからのお知らせ

### 情報通信月間「電波の日記念講演会」開催のお知らせ

情報通信技術（ICT）の目ざましい発展により、なかでも電波を有効に利用する様々なシステムは社会経済活動及び国民生活において不可欠なものとなっております。

通信分野においては、第4世代（IMT-Advanced）移動通信システムの実現によりスマートフォンやタブレット型端末が急速に普及し、無線LANシステムの高速化によりそのオフロード利用が拡大しています。また、高度道路交通システム（ITS）、機器間通信（M2M通信）、さらには第5世代移動通信システム等、電波の利用が拡大しています。

放送分野においては、すでにマルチメディア放送が開始され、スーパーハイビジョン（4K・8K）についても昨年の4K試験放送スタートを皮切りに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて本格普及への期待が高まっています。

このような情勢を踏まえて、一般社団法人電波産業会では、総務省のご後援を得て、6月1日の電波の日を記念した情報通信月間参加行事として、「電波の日記念講演会」を下記のとおり開催いたします。講演会では、「電波利用の現状と今後の展望」をテーマにして、総務省、電気通信事業者、放送事業者及び無線機器製造業者の各分野のトップの方々を講師にお迎えして、それぞれのお立場でご講演を頂きます。

ぜひ、ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 日時 : 2015年5月25日（月）13:10から16:00まで（開場12:40）
- 2 開催場所 : 明治記念館 蓬莱の間 (<http://www.meijikinenkan.gr.jp/>)  
東京都港区元赤坂 2-2-23 電話 : (03) 3403-1171
- 3 実施機関 : 主催 一般社団法人電波産業会  
情報通信月間推進協議会  
後援 総務省（予定）

4 講演・講師：

(1) 総務省

基調講演

総合通信基盤局長

吉良 裕臣 氏

(2) 電気通信事業者

モバイルインターネットの進化とソフトバンクの新たな取り組み

ソフトバンクモバイル株式会社 代表取締役社長 兼 CEO

宮内 謙 氏

(3) 放送事業者

次世代放送技術で変わることを、変わらないこと

～有料放送の可能性～

株式会社 WOWOW

代表取締役社長

和崎 信哉 氏

(4) 無線機器製造業者

F1 で培った技術がもたらす安心・安全と快適・感動

～無線技術とカーオプトロニクスを考える～

株式会社 JVC ケンウッド

代表取締役社長 兼 COO

辻 孝夫 氏

5 参加者 : 電波利用に関係ある方々及び電波利用に関心のある一般の方々 250 名

6 参加費 : 無料 (事前登録制)

7 申込み先 : 当会 Web サイト (<http://www.arib.or.jp/>) 「講演会等開催案内」から参加登録

8 問合せ先 : 一般社団法人電波産業会 企画国際部 栗田、尾崎

電話 : 03-5510-8592

E-mail : [denpanohi2015@arib.or.jp](mailto:denpanohi2015@arib.or.jp)

ARIBの動き

**ロボット用電波利用システム調査研究会(第4回)が開催される  
～WGの検討結果を了承、今後の検討の進め方を決定～**

4月10日、第4回会合がARIB会議室で開催され、ロボット用電波利用システムの要求条件及び無線通信システムの技術的条件を検討してきたWG(主任 姉齒章 双葉電子工業株式会社)からWGの検討結果の報告がありました。

報告においては、ロボットの運用に必要なロボット(機器)と操作者間における遠隔制御やデータ通信を検討対象範囲とし、地上、屋内、上空及び海上での利用シーンを想定し、それぞれにふさわしい無線通信システムを提案しております。

調査研究会においては、WG報告を踏まえ、早急に検討すべき候補周波数帯(2.4GHz帯及び5GHz帯)における既存無線システムとの共用検討を行うWGを立ち上げ、7月までに共用方策の取りまとめ等を行うこととなりました。

なお、総務省においては3月に情報通信審議会に対して「ロボットにおける電波利用の高度化に関する技術的条件」(諮問第2036号)を諮問したところであり、本調査研究会の検討成果は、順次、担当の陸上無線通信委員会に提案していくこととなりました。



ロボット用電波利用システム調査研究会 第4回会合の様子

### 第23回調査統計小委員会幹事会を開催

第23回調査統計小委員会幹事会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時：平成27年4月13日（月） 午後4時から4時50分まで
- 2 場所：当会第4会議室
- 3 議事概要
  - (1) 電波産業年鑑2015第1章のテーマ選定について
  - (2) 執筆者について
  - (3) その他

### 今週のARIB内会合（4月20日～4月24日）

- 4月22日（水） 第227回技術委員会（通信分野）
- 4月23日（木） デジタル放送システム開発部会 デジタル受信機作業班
- 4月23日（木） 自営無線通信調査研究会（第1回）
- 4月24日（金） 防災行政無線システム作業班（第7回）

### 今週の国際会合（4月20日～4月24日）

- 4月20日（月） GSC IPR WG（ETSI・フランス）

## 総務省からのお知らせ

### 「平成 26 年度電波の利用状況調査の調査結果」の公表及び 「平成 26 年度電波の利用状況調査の評価結果（案）」に対する意見募集 【平成 27 年 4 月 9 日発表】

総務省は、平成 26 年度電波の利用状況調査の調査結果を取りまとめ公表しました。また、その結果を踏まえた電波の利用状況調査の評価結果（案）を作成しました。

本評価結果（案）について、平成 27 年 4 月 10 日（金）から 5 月 14 日（木）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成 27 年 4 月 9 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

### 端末機器の技術基準適合認定等に関する試験方法に係る告示等の 一部改正案に対する意見募集 【平成 27 年 4 月 10 日発表】

総務省は、インターネットプロトコル移動電話の一つである VoLTE（Voice over LTE）端末の緊急通報に関して、端末機器の技術基準適合認定等に関する試験方法に係る告示等の一部改正案を作成しました。

本一部改正案について、平成 27 年 4 月 11 日（土）から 5 月 15 日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成 27 年 4 月 10 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

## お知らせ

### 「うるう秒」挿入と説明会開催のお知らせ ～平成 27 年（2015 年）7 月 1 日（水）に、「うるう秒」の調整が行われます。～

#### 【今回のうるう秒の調整】

日本では、本年 7 月 1 日（水）の日本標準時  
午前 8 時 59 分 59 秒と午前 9 時 00 分 00 秒の間に、「8 時 59 分 60 秒」を挿入します。  
これについての報道資料（平成 27 年 1 月 16 日）はこちらです。

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02tsushin03\\_03000140.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin03_03000140.html)

これに備えて、各種情報システムを検証し、必要な対応をとるようお願いいたします。

## 【「うるう秒」実施に関する説明会】

情報通信研究機構（NICT）では、「うるう秒」実施に関する説明会を下記のとおり実施します。

日時：平成27年5月15日（金） 午前10:30～午前11:30（開場10:15）

場所：NICT麹町会議室

（東京都千代田区麹町五丁目4番 KY麹町ビル4階）

内容：・「うるう秒」について

・「うるう秒」調整の必要性

・NICTの時刻提供における「うるう秒」対応に関する説明

・社会における「うるう秒」の影響 ほか

お申し込みは、NICTのホームページをご覧ください。

<http://www.nict.go.jp/press/2015/04/15-2.html>

## 外部情報(広告)コーナー

### 《 注目のICT技術者資格へチャレンジ 》 第20回 モバイルシステム技術検定

検定試験はモバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2Mなど構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業SEなどモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格となります。

MCPCモバイルシステム検定は、既に56,000人以上の方が受験されています（2015年2月末現在）。また、多くの企業からは「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられています。

皆様の挑戦を期待しております。

【実施日時】 2015年6月6日（土） 9:50～11:30

【開催場所】 札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡、さいたま、金沢、高松

【受検料】 一般 15,100円（税込）、協力団体 12,900円（税込）

※ARIB会員各社は、協力団体料金となります。

【申込期間】 2015年3月23日（月）～5月8日（金）

◆お申し込みはWebから！

[http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei\\_msg/index.html](http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg/index.html)

モバイルソリューションを推進する  
**MCPC**

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階  
<http://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは



**MCPC検定事務局** TEL 03-5401-1735  
FAX 03-5401-1937  
e-mail: [msec@mcpc-jp.org](mailto:msec@mcpc-jp.org)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)